

新入生が大学に期待する事項に関する分析

Factors of the expectation of Hiroshima International University for new students

糸 川 裕 子

ITOKAWA Yuko

広島国際大学 心理学部紀要 第6巻 抜刷

The Bulletin of Faculty of Psychology, Hiroshima International University Volume 6
2018

広島国際大学

Hiroshima International University

新入生が大学に期待する事項に関する分析

広島国際大学心理学部心理学科, IR センター 糸川 裕子

要旨: 近年, 大学において IR(Institutional Research)組織を設置する大学が増加している. IR 組織は大学内の様々な情報を収集・管理し, それらを分析することによって大学内の改善点を明らかにすることが目的である. 本学でも IR センターを設け, 各学科の退学者に関する分析などを行ってきた. 本稿では, 2016 年度入学生を対象に実施したアンケート調査のうち, 本学に期待することに関するアンケート結果を分析対象とする. この設問は 5 件法で調査されており, 分析には因子分析を用いた. 分析の結果, 全学的には授業での学びに期待しており, 心理学科においては大学生としての学生生活に期待していることが明らかとなった.

はじめに

IR とは Institutional Research の略で, 大学の中にある様々な情報を活用し, 教育・研究等の大学業務の改善や意思決定の支援のために機能する. IR 組織は必要な情報を収集・分析・評価・活用・提供などの中核を担う役割をもつ. こうした情報の分析結果は大学の財務, 経営に関することのみならず, 教学改革にも有用であるが, 以前は収集したデータを組織としての戦略を立案する取り組みにまで活用している事例は限定的であった. しかし近年, 競争的資金の獲得に関して IR 部局の設置の有無が一定の意味を有する重要な機関となりつつある[2,3].

広島国際大学においても IR センターが設置され, 様々な問題点の改善のためのデータ分析を試みている. IR センターでは, 2017 年度に全学科を対象に退学要因分析を実施し, 分析官より各学科長へ分析結果を報告した. また, 新入生を対象に実施されるアンケート調査結果を用い, 多次元尺度法を用いて新入生が本学に抱く魅力について分析した[1].

本稿では, IR センターで利用する大学保有のデータを用いて, 新入生が本学に期待していることについて因子分析した結果を報告する. データは 2016 年度入学生を対象に実施した新入生を対象にしたアンケート調査のうち, 本学に期待することに関するアンケート結果を用いた. アンケート結果は, 既にグラフ化され, 報告されている. しかしながら, アンケート項目が多く, それら多数のグラフをみても総合的な結果を把握するのは難しい. 本研究ではこの設問に対する回答に対して因子分析を用いて分析し, 新入生が本学に対して何を期待しているのか, 設問に共通する因子を明らかにすることを目的とする. また, 全学部全学科の新入生のデータに対する分析と, 心理学科に入学した新入生のデータに対するものの 2 種類の分析を実施し, 学科間で本学に期待する事項に特徴が見られるのかを検証する.

1. 新入生アンケート調査

本学では新入生を対象としたアンケートを2年ごとに実施している。本研究では2016年に実施されたアンケート結果を用いる。全7問の設問のうち、分析対象とした設問は、

「今後の学生生活の中で、本学にどのようなことを期待しますか?」
である。

アンケートの構成

「期待すること」の質問事項は全部で46項目あり、これらは以下の9つに大別されている：

- 授業内容 17項目
- 教員 3項目
- 生活施設 5項目
- 環境 2項目
- 教育施設 4項目
- 学生サービス 7項目
- クラブ等 2項目
- 交友関係 3項目
- ブランド性 3項目

それぞれの質問について5段階(5:大変期待～1:全く期待していない)で評価を求めた。46項目のアンケート内容を表1に示す。

2. 分析方法

分析データは、大学データベース(CampusMate-J)に蓄積されたものを使用した。このデータはセキュリティのため、すべてのデータは学籍番号などの個人情報部分は秘匿とされている。また、情報漏洩防止の観点から、分析は大学内に設置されたIR分析室でのみ行った。統計解析にはSTATA release15を使用した。

本学の全学部全学科の2016年度新入生から回収された回答のうち、「期待すること」について46項目すべてに回答しているものを分析対象とした。これらの回答を主因子法、バリマックス回転により因子分析を行った。得られた各因子について α 係数を算出し、信頼性の検討を行った。

3. 分析結果

最初に、全学部全学科の2016年度新入生の回答を対象として因子分析を実施した。有効回答数は769であった。まず、46の質問項目すべてを対象に因子分析を実施し、その結果、因子負荷量が0.35を下回る質問項目を削除し、改めて因子分析を実施したところ、44の質問項目に対し4因子を得た。この結果を表2に示す。除外した質問項目は「奨学金制度が充実している」と「下宿の斡旋情

表1 2016年新生に実施した、「大学に期待すること」アンケート項目

| | | | |
|--------------------|-------------------------|----------------|---------------------------|
| 授業内容 | 自分の好きな分野が勉強できる | 生活施設 | キャンパスが快適である |
| | 幅広い知識・教養が身につけられる | | 購買部（コンビニ・売店等）が充実している |
| | 学習の仕方を身につけることができる | | 食堂が充実している |
| | 自分で考える力を身につけることができる | | スポーツ施設などを自由に使うことができる |
| | プレゼンテーション能力を身につけることができる | | トイレがきれいである |
| | 専門分野の研究を追究できる | 環境 | 周辺の環境に恵まれている |
| | 将来の職業に役立つことが学べる | | 便利に通学できるよう配慮してくれている |
| | 資格取得に役立つ勉強ができる | 教育施設 | PCやWi-Fiなどの環境が整っている |
| | 時代に即した新しい分野の勉強ができる | | 研究室・実験室の設備が充実している |
| | 国際感覚を身につけるチャンスが多い | | 校舎・教室がきれいである |
| | 刺激を授ける授業が多い | 学生サービス | 図書館が使いやすい |
| | カリキュラム選択の幅が広い | | 将来の仕事や人生設計のサポートが充実している |
| | 実習・実験内容が充実している | | 学生課・教務課・学務課など事務室の学生へのサービス |
| | 海外留学できるプログラムが充実している | | 奨学金制度が充実している |
| 少人数・ゼミ形式の授業が充実している | 大学がクラブ・サークル活動に対して協力的である | | |
| 討論・参加形式の授業が授けられる | アルバイトの斡旋情報が多い | | |
| 学びやすいカリキュラムになっている | 下宿の斡旋情報や寮の施設が充実している | | |
| 教員 | 教授陣が授業の取り組みに熱心である | クラブ | 就職に関する情報提供やアドバイスを親身してくれる |
| | 相談相手になってくれる教授陣と出会う | | クラブ・サークル活動が楽しめる |
| | 社会的評価の高い教授がそろっている | 学園祭で盛りあがることできる | |
| ブランド性 | 大学に対する周囲の評判が良い | 関係友 | たくさんの友人ができる |
| | 歴史や伝統を感じる | | OB・OGとの交流ができる |
| | 教育方針や校風に魅力を感じる | | 他の大学との交流が盛んである |

報や寮の施設が充実している」であった。4つの因子それぞれの信頼性として α 係数を算出すると、第一因子とした14項目についての α 係数は $\alpha=0.9245$ 、第二因子とした14項目についての α 係数は $\alpha=0.9088$ 、第三因子とした8項目についての α 係数は $\alpha=0.8542$ 、第四因子とした10項目についての α 係数は $\alpha=0.9001$ と、十分な値を示した。

最も寄与率の高い第一因子は、「討論・参加形式の授業が授けられる」、「学びやすいカリキュラムになっている」など、講義内容に関する因子であると考えられる。次に寄与率の高い第二因子は、「購買部（コンビニ・売店等）が充実している」、「キャンパスが快適である」など、学生生活を送る際のインフラに関する因子であると考えられる。第三因子として、専門性、資格取得に関する因子が、第四因子として、課外活動に関する因子がそれぞれ抽出された。

次に、2016年度に心理学科に入学した学生のみを対象とし、表1の質問事項のアンケート結果について因子分析を行なった。有効回答数は65である。この分析においても、最初に46の質問項目すべてに対して因子分析を実施し、そこで得られた結果から因子負荷量が0.35を下回る質問項目を除き、改めて因子分析を実施した。その結果、43の質問項目と4つの共通因子が抽出された。その結果を表3に示す。除外した質問項目は、「周辺の環境に恵まれている」、「PCやWi-Fiなどの環境が整っている」、「奨学金制度が充実している」であった。各因子の信頼性として α 係数を算出すると、第一因子とした16項目についての α 係数は $\alpha=0.9204$ 、第二因子とした10項目についての

糸川：新入生が大学に期待する事項に関する分析

表 2 全学科の新入生を対象とした期待に関するアンケート調査の因子分析結果

| 質問事項 | 分類 | Factor1 | Factor2 | Factor3 | Factor4 | 共通性 |
|---------------------------|--------|-------------|-------------|-------------|-------------|------|
| 討論・参加形式の授業が授けられる | 授業内容 | .696 | .182 | .165 | .166 | .572 |
| 国際感覚を身につけるチャンスが多い | 授業内容 | .661 | .162 | .124 | .207 | .521 |
| 刺激を授ける授業が多い | 授業内容 | .636 | .208 | .313 | .127 | .561 |
| 学びやすいカリキュラムになっている | 授業内容 | .602 | .297 | .261 | .220 | .567 |
| 海外留学できるプログラムが充実している | 授業内容 | .598 | .111 | -.019 | .243 | .430 |
| カリキュラム選択の幅が広い | 授業内容 | .593 | .315 | .247 | .152 | .535 |
| 少人数・ゼミ形式の授業が充実している | 授業内容 | .574 | .182 | .254 | .199 | .467 |
| プレゼンテーション能力を身につけることができる | 授業内容 | .554 | .146 | .310 | .082 | .431 |
| 社会的評価の高い教授がそろっている | 教員 | .548 | .295 | .345 | .239 | .563 |
| 歴史や伝統を感じる | ブランド性 | .462 | .415 | .085 | .410 | .560 |
| 教授陣が授業の取り組みに熱心である | 教員 | .449 | .256 | .426 | .221 | .498 |
| 教育方針や校風に魅力を感じる | ブランド性 | .440 | .390 | .250 | .389 | .559 |
| 相談相手になってくれる教授陣と出会える | 教員 | .437 | .323 | .428 | .229 | .531 |
| 学習の仕方を身につけることができる | 授業内容 | .435 | .166 | .377 | .186 | .393 |
| 購買部(コンビニ・売店等)が充実している | 生活施設 | .228 | .670 | .139 | .192 | .557 |
| キャンパスが快適である | 生活施設 | .200 | .664 | .249 | .170 | .572 |
| 食堂が充実している | 生活施設 | .212 | .663 | .169 | .192 | .550 |
| 便利に通学できるよう配慮してくれている | 環境 | .112 | .599 | .009 | .191 | .408 |
| 校舎・教室がきれいである | 教育施設 | .106 | .591 | .410 | .142 | .549 |
| 周辺の環境に恵まれている | 環境 | .132 | .584 | -.130 | .159 | .401 |
| トイレがきれいである | 生活施設 | .201 | .580 | .202 | .182 | .451 |
| PCやWi-Fiなどの環境が整っている | 教育施設 | .105 | .538 | .139 | .228 | .371 |
| 図書館が使いやすい | 教育施設 | .276 | .524 | .253 | .184 | .449 |
| 研究室・実験室の設備が充実している | 教育施設 | .177 | .505 | .370 | .225 | .474 |
| 将来の仕事や人生設計のサポートが充実している | 学生サービス | .284 | .482 | .477 | .193 | .578 |
| 就職に関する情報提供やアドバイスを親身にしてくれる | 学生サービス | .259 | .474 | .293 | .373 | .517 |
| 学生課・教務課・学務課など事務室の学生へのサービス | 学生サービス | .343 | .455 | .396 | .193 | .518 |
| スポーツ施設などを自由に使うことができる | 生活施設 | .319 | .432 | .117 | .400 | .462 |
| 将来の職業に役立つことが学べる | 授業内容 | .053 | .125 | .744 | .156 | .597 |
| 資格取得に役立つ勉強ができる | 授業内容 | .028 | .128 | .665 | .146 | .481 |
| 幅広い知識・教養が身につけられる | 授業内容 | .343 | .143 | .564 | .109 | .468 |
| 自分の好きな分野が勉強できる | 授業内容 | .221 | .046 | .559 | .137 | .382 |
| 専門分野の研究を追究できる | 授業内容 | .318 | .063 | .545 | .085 | .409 |
| 自分で考える力を身につけることができる | 授業内容 | .406 | .138 | .481 | .139 | .435 |
| 時代に即した新しい分野の勉強ができる | 授業内容 | .400 | .206 | .454 | .126 | .424 |
| 実習・実験内容が充実している | 授業内容 | .397 | .256 | .454 | .177 | .461 |
| クラブ・サークル活動が楽しめる | クラブ等 | .122 | .238 | .263 | .723 | .663 |
| 学園祭で盛りあがることのできる | クラブ等 | .137 | .302 | .276 | .694 | .668 |
| OB・OGとの交流ができる | 交友関係 | .301 | .247 | .135 | .616 | .549 |
| 大学がクラブ・サークル活動に対して協力的である | 学生サービス | .258 | .261 | .206 | .606 | .545 |
| 他の大学との交流が盛んである | 交友関係 | .365 | .332 | .034 | .599 | .603 |
| たくさんの友人ができる | 交友関係 | .184 | .254 | .344 | .583 | .557 |
| アルバイトの斡旋情報が多い | 学生サービス | .335 | .366 | .045 | .463 | .462 |
| 大学に対する周囲の評判がよい | ブランド性 | .342 | .421 | .207 | .437 | .527 |
| 寄与率 | | .145 | .143 | .116 | .102 | .506 |

α 係数は $\alpha=0.9128$, 第三因子とした 11 項目についての α 係数は $\alpha=0.8762$, 第四因子とした 6 項目についての α 係数は $\alpha=0.8248$ と, 十分な値を示した.

心理学科を対象とした分析結果においては, 最も寄与率が高い第一因子となった質問項目は「他の大学との交流が盛んである」, 「OB・OG との交流ができる」などの, 交友関係に関することや, クラブ・サークル活動, 大学祭などで, 課外活動に関する共通因子が抽出された. 第二因子は「食堂が充実している」, 「購買部が充実している」など, 学生生活を送る上で重要な項目が抽出された.

表3 心理学科の新入生を対象とした期待に関するアンケート調査の因子分析結果

| 質問項目 | 分類 | Factor1 | Factor2 | Factor3 | Factor4 | 共通性 |
|---------------------------|--------|---------|---------|---------|---------|------|
| 他の大学との交流が盛んである | 交友関係 | .818 | .146 | .143 | .068 | .716 |
| OB・OGとの交流ができる | 交友関係 | .774 | -.069 | .022 | .286 | .686 |
| 大学に対する周囲の評判がよい | ブランド性 | .718 | .260 | .077 | .102 | .599 |
| たくさん友人ができる | 交友関係 | .701 | .122 | .042 | .272 | .582 |
| アルバイトの斡旋情報が多い | 学生サービス | .692 | .309 | .198 | -.071 | .619 |
| 大学がクラブ・サークル活動に対して協力的である | 学生サービス | .660 | .066 | .230 | .039 | .494 |
| クラブ・サークル活動が楽しめる | クラブ等 | .618 | .073 | .396 | .008 | .543 |
| 下宿の斡旋情報や寮の施設が充実している | 学生サービス | .614 | .273 | .023 | -.091 | .460 |
| 歴史や伝統を感じる | ブランド性 | .598 | .392 | .182 | .019 | .545 |
| 教育方針や校風に魅力を感じる | ブランド性 | .588 | .403 | .378 | .148 | .672 |
| 学園祭で盛りあがることできる | クラブ等 | .530 | .228 | .293 | .086 | .426 |
| 学びやすいカリキュラムになっている | 授業内容 | .520 | .233 | .498 | .096 | .582 |
| 就職に関する情報提供やアドバイスを親身にしてくれる | 学生サービス | .508 | .371 | .309 | -.061 | .495 |
| 便利に通学できるよう配慮してくれている | 環境 | .507 | .114 | -.181 | .222 | .352 |
| スポーツ施設などを自由に使うことができる | 生活施設 | .464 | .225 | .329 | -.248 | .435 |
| カリキュラム選択の幅が広い | 授業内容 | .386 | .186 | .344 | .281 | .381 |
| 食堂が充実している | 生活施設 | .061 | .840 | .162 | .016 | .735 |
| 購買部(コンビニ・売店等)が充実している | 生活施設 | .172 | .833 | .087 | .029 | .731 |
| トイレがきれいである | 生活施設 | .040 | .767 | .047 | .094 | .601 |
| 将来の仕事や人生設計のサポートが充実している | 学生サービス | .219 | .745 | .156 | .213 | .673 |
| キャンパスが快適である | 生活施設 | .212 | .715 | .072 | .078 | .567 |
| 校舎・教室がきれいである | 教育施設 | .132 | .704 | -.014 | .240 | .570 |
| 図書館が使いやすい | 教育施設 | .127 | .700 | -.004 | .248 | .567 |
| 学生課・教務課・学務課など事務室の学生へのサービス | 学生サービス | .268 | .658 | .165 | .144 | .552 |
| 研究室・実験室の設備が充実している | 教育施設 | .275 | .524 | .356 | .134 | .495 |
| 社会的評価の高い教授がそろっている | 教員 | .365 | .489 | .430 | .129 | .574 |
| 自分で考える力を身につけることができる | 授業内容 | -.018 | .166 | .795 | .125 | .675 |
| 幅広い知識・教養が身につけられる | 授業内容 | -.035 | -.115 | .695 | .178 | .529 |
| 討論・参加形式の授業が授けられる | 授業内容 | .418 | .141 | .671 | .167 | .672 |
| プレゼンテーション能力を身につけることができる | 授業内容 | .022 | .173 | .658 | .154 | .487 |
| 学習の仕方を身につけることができる | 授業内容 | .084 | .167 | .641 | .015 | .446 |
| 少人数・ゼミ形式の授業が充実している | 授業内容 | .419 | .111 | .592 | .215 | .585 |
| 相談相手になってくれる教授陣と出会える | 教員 | .309 | .343 | .535 | .167 | .527 |
| 刺激を受ける授業が多い | 授業内容 | .281 | .062 | .508 | .177 | .372 |
| 国際感覚を身につけるチャンスが多い | 授業内容 | .390 | -.028 | .490 | .181 | .425 |
| 海外留学できるプログラムが充実している | 授業内容 | .411 | -.182 | .435 | .085 | .398 |
| 教授陣が授業の取り組みに熱心である | 教員 | .355 | .309 | .399 | .205 | .423 |
| 資格取得に役立つ勉強ができる | 授業内容 | .155 | .101 | .140 | .725 | .579 |
| 将来の職業に役立つことが学べる | 授業内容 | .061 | .149 | .185 | .687 | .531 |
| 時代に即した新しい分野の勉強ができる | 授業内容 | .251 | .268 | .096 | .674 | .599 |
| 専門分野の研究を追究できる | 授業内容 | .102 | .236 | .301 | .674 | .611 |
| 自分の好きな分野が勉強できる | 授業内容 | -.228 | .116 | .356 | .555 | .500 |
| 実習・実験内容が充実している | 授業内容 | .356 | .261 | .345 | .438 | .505 |
| 寄与率 | | .181 | .152 | .136 | .078 | .547 |

第三因子として、「自分で考える力を身につけることができる」、「幅広い知識・教養が身につけられる」など、教養を身につけることに関する因子が抽出された。第四因子として、「資格取得に役立つ勉強ができる」、「将来の職業に役立つことが学べる」など、専門分野に関する知識の習得に関する因子が抽出された。

4. 考察

全学部全学科の新入生を対象に因子分析を実施した結果と、心理学科の新入生を対象に因子分析を実施した結果の両方について、「授業内容」、「教員」に大別される学業に関する質問群から、「学業」と「資格取得のための専門性」が、「生活施設」、「環境」、「教育施設」、「学生サービス」、「クラ

ブ等」,「交友関係」に大別される質問から,「学生生活」と「課外活動」に関する共通因子が示唆された。学業に関する2つの共通因子について,学業全般に関する因子も専門性に関する因子も,両方とも正の値になるものがほとんどであった。つまり,国家試験を目標としている学部・学科の学生も,専門性に特化したことだけを期待しているわけではなく,大学での学び全般について期待しているといえる。

全学部と心理学科において認識が異なっているのは「ブランド性」に関する項目で,大学全体としては,社会的評価の高い教授の存在,校風や歴史,伝統は学業としての期待として認識しているが,心理学科の新入生は,これらは学業とは直接関係のない,大学の付加価値として認識している。カリキュラムに期待することも,大学全体としては,学業としていろいろな学びを期待していると読み取れるが,心理学科においては時間割を決める際の選択の自由と捉えていると思われる。

また,心理学科の新入生の特徴として,「自分で考える力」と「幅広い知識・教養」は,一般的な教養として認識しており,大学全体では,これらは専門性の一貫として捉えていることがわかった。本学では国家資格取得を目標としている学部・学科が多く,それらの学科への新入生は専門性の高い知識の習得をより期待していると考えられる。一方,心理学科は国家試験を目的としておらず,大学生活において一般教養を身につけることを期待していると思われる。

おわりに

2016年度に実施された新入生アンケート調査のうち,本学に期待することに関するアンケート結果を用いて因子分析を実施した。全学部・全学科の新入生の回答と,心理学科の新入生のみの回答と2種類の分析を行ったが,いずれも期待することの共通因子として「学業全般」,「専門分野に関する学業」,「学生生活を送る上でのインフラ」,「課外活動」の4因子が抽出された。ただし得られた結果は単純構造ではなく,4つの因子がそれぞれ独立して評価されているわけではないと考える。また,心理学科の新入生には,学業だけではない,大学生としての生活,大学の付加価値への評価に特徴がみられた。

[1]で分析した大学に抱く魅力同様,新入生が期待することを分析することにより,オープンキャンパスや高校訪問など,高校生に本学のアピールをする際に重点を置くべき項目が明らかになる。そしてアピールポイントは学部学科や所属キャンパスによっても異なる可能性がある。今後,他の学部学科についても分析に取り組んでいく必要があると考える。

引用文献

- [1]糸川 裕子(2018). 新入生が大学に抱く魅力に関する要因の研究, 広島国際大学心理学部紀要第5巻, 1-7.
- [2]沖 清豪(2017). 私立大学経営における IR (Institutional Research) の意義と課題, 日本教育経営学会紀要 第59号, 26-35.
- [3] 小林 雅之編(2014). 平成 24・25 年度文部科学省大学改革推進委託事業 大学における IR(インスティテューショナル・リサーチ)の現状と在り方に関する調査研究報告書, 東京大学.